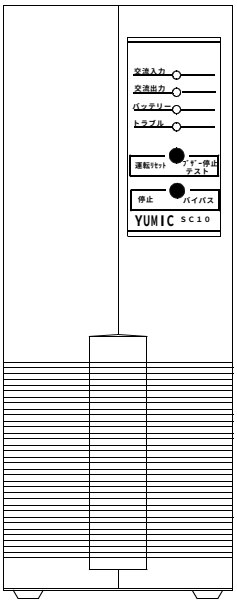
無停電電源装置

ＹＵＭＩＣ－ＳＣ１０Ａ
（縦置き型）

取扱説明書



このたびはジーエス・ユアサ パワーエレクトロニクスの
ミニＵＰＳをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

注意

装置の操作を行う前に必ず取扱説明書をお読みください。お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
誤った操作は装置故障及び事故のおそれがあります。

株式会社　ジーエス・ユアサ パワーエレクトロニクス

図番	ＴＴ－３３０９	F

安全上のご注意

本装置の据え付け、運転・操作、保守・点検を行う前に、必ずこの取扱説明書及び注意書きをお読みください。
本項目では、安全のための注意事項のランクを「警告」、「注意」に区分してあります。

⚠ 警告　取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。

⚠ 注意　取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性は少ないが、障害を負う危険が想定される場合、ならびに物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全上のご注意

⚠ 警告
公共的、社会的に重大な影響を与える可能性のある機器には使用しないでください。
医療機器など人命及び人身の損傷に影響を与える可能性のある用途には使用しないでください。
本装置を設置される場所は、仕様書で定められた使用環境で使用してください。 装置故障、部品劣化により寿命を短縮させる原因となるおそれがあります。
仕様書に定められた入出力仕様の範囲でご使用ください。 装置故障の原因となるおそれがあります。
接続箇所に緩みがないことを確認してください。 発熱及び装置故障の原因となるおそれがあります。
ビス等を外しての分解は絶対にしないでください。 感電及び装置故障の原因となるおそれがあります。
運転中、停止中にかかわらず、装置内部品に触れないでください。 装置故障及び感電の原因となるおそれがあります。
本装置を保守できる当社のサービスマン以外は内部の修理等は行わないでください。 誤点検・誤操作・誤修理は装置の故障及び事故の原因となるおそれがあります。
端子台及びコネクタの活電部に触れないでください。 感電及び装置故障の原因となるおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意
装置の外箱、ケーブル等に損傷が無いことを確認してください。 装置故障の原因となるおそれがあります。
本装置は、粉塵の多い場所で使用しないでください。 装置故障の原因となるおそれがあります。
本装置は水平な床に設置してください。 装置の移動、転倒、故障、事故の原因となるおそれがあります。
本装置には衝撃を与えないでください。 装置故障の原因となるおそれがあります。
装置の絶縁抵抗を測定しないでください。 装置故障、及び事故の原因となるおそれがあります。
入力プラグの接地極は必ず接地してください。 感電及び誤動作の原因となるおそれがあります。
ケーブル布設は信号用と交流入力及び交流出力をそれぞれ分離してください。 ノイズ等により設備の異常動作となるおそれがあります。
装置の異常状態のままで使用しないでください。 装置故障及び事故の原因となるおそれがあります。
装置に異常現象が生じた場合は取り扱い説明書に従い応急処置を行ってください。 処置及び原因などに不明点があればお買いあげの販売店にお問い合わせください。
火災・地震などが発生した場合は、速やかに装置の状況を確認してください。 異常が認められた場合はお買いあげの販売店に連絡してください。
推奨された期間内に定期的に点検を行ってください。 部品劣化等により装置故障の原因となるおそれがあります。
清掃時はシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。 化学変化により装置故障及び事故の原因となるおそれがあります。
装置の移動、移設、用途変更する場合はお買いあげの販売店にご相談ください。 装置故障、設備の破損及び事故の原因となるおそれがあります。
バッテリの推奨交換年数毎に、バッテリの交換を行ってください。 火災及び装置故障の原因となるおそれがあります。 交換の際にはお買いあげの販売店にお問い合わせください。
保管後再使用するときは、点検を必ず行ってください。 部品劣化し装置故障の原因となるおそれがあります。
保管時の環境は仕様書で決められた環境を維持すると同時に結露しないようにしてください。絶縁劣化、部品劣化の原因となるおそれがあります。
ファンの推奨交換年数毎に、ファンの交換を行ってください。 装置故障の原因となるおそれがあります。 交換の際にはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

目　　次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1
目　　次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
１．製品が届きましたら ・・・・・・・・・・ 4
２．各部の名称と働き
２－１　装置配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
２－２　機能表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
３．設置場所選定 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
４．接続方法
４－１　適合する電源設備の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・ 6
４－２　エンジン発電器での使用について ・・・・・・・・・・ 6
４－３　負荷装置の接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
４－４　外送信号の接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
４－５　拡張スロット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
５．操作方法
５－１　初めての運転の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
５－２　始動運転操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
５－３　停止（バイパス）操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
５－４　運転リセット操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
６．動作説明
６－１　動作説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
６－２　ランプ表示・ブザー動作説明 ・・・・・・・・・・・・・ 9
６－３　保守機能説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
６－３－１　バックアップテスト機能 ・・・・・・・・・・・・ 9
６－３－２　バッテリ交換予告機能 ・・・・・・・・・・・・・１０
７．異常時の操作方法 ・・・・・・・・・・・・・１１
８．保守・点検
８－１　保守・点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
８－１－１　日常のご点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
８－１－２　定期的にバッテリ交換が必要です ・・・・・・・・１２
８－１－３　排気ファンの交換 ・・・・・・・・・・・・・・・１２
８－１－４　長い間使わない場合 ・・・・・・・・・・・・・・１３
８－１－５　絶縁試験 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
９．要項表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
１０．保証について ・・・・・・・・・・・・・・・１４
１１．問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・１４

１．製品が届きましたら

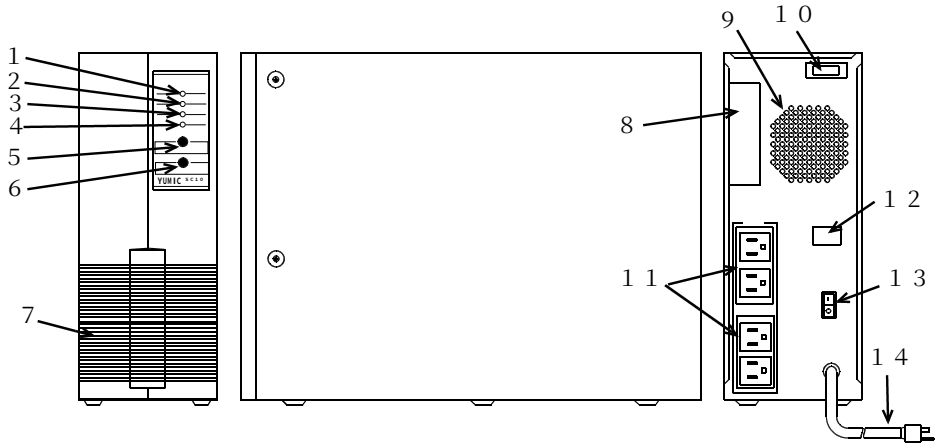
お手もとに届きましたら、梱包を開梱し、製品がご希望通りの製品であるかをご確認の上、本製品の外観のチェックを行い、損傷のないことをご確認ください。また、以下のリスト通りのものが梱包されているかをご確認ください。

梱包品リスト

内　　容	数　　量
ＵＰＳ装置本体	１台
取扱説明書	１部
保証書	１部

２．各部の名称と働き

２－１　装置配置図



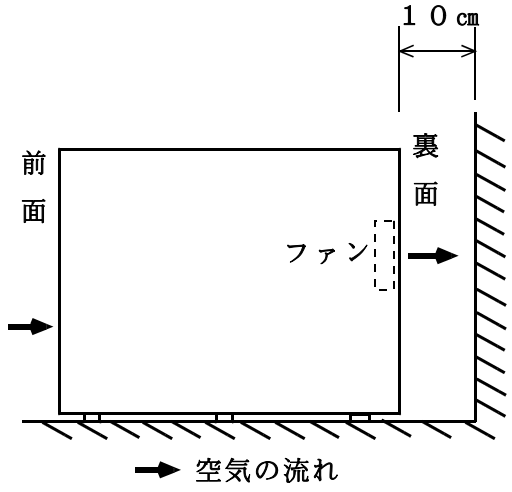
２－２　機能表

NO.	名　称	働　き
1	交流入力ランプ	交流入力正常時に点灯します 停電時は消灯、過電圧時は点滅します
2	出力ランプ	インバータ出力時に点灯します バイパス出力時は点滅します
3	バッテリランプ	バッテリ電圧正常時に点灯します 充電中及びバックアップ中のバッテリ電圧低下時に点滅します
4	トラブルランプ	装置故障及びバッテリ交換警告時に点灯します 過負荷によるバイパス出力時に点滅します
5	運転（リセット） ブザー停止 テスト　スイッチ	バイパス出力中に１秒間押すとインバータ運転を開始します（トラブルによるバイパス出力のリセット操作を兼ねています） ブザー鳴動時に押すとブザーが停止します インバータ出力中に１秒間押すとバックアップ動作テストを開始します

NO.	名　称	働　き
６	停止（バイパス）スイッチ	インバータ出力中に１秒間押すとインバータ停止し、バイパス出力に切り替わります
７	吸気口	内部で発生した熱を冷却するための外気を取入れる開口部です
８	拡張スロット	オプションのインターフェイスボードを取り付ける拡張スロットです
９	ファン	強制空冷用のファンです
１０	外送信号	外送信号用コネクタ（Ｄサブ９ピン、メス）
１１	出力コンセント	出力用コンセント
１２	バッテリ増設用コネクタ	保持時間延長オプションを接続するコネクタ
１３	入力ＭＣＢ	入力ブレーカです
１４	入力プラグ	アース付き平行２極の入力プラグです

３．設置場所選定

■本装置は縦置き専用です。
■温度：０～４０℃、湿度：３０～９０％の場所に設置して下さい。
　装置故障、部品劣化により寿命を短縮させる原因となる恐れがあります。
■熱源の近くや、直射日光のあたる場所、火の近くには設置しないで下さい。
■屋外及び塩分や腐食性ガスの発生する場所には設置しないで下さい。
■無線機やテレビ、ラジオなどの近くに置くとノイズが混入する場合が
　ありますので離れた場所に設置してください。
■埃っぽい場所には設置しないで下さい。
■傾いている所（水平でない場所）には設置しないで下さい。
■火災予防条例にて蓄電池設備の制限を受ける場所には設置しないで下さい。
■ミニＵＰＳ裏面に排気ファンがありますので排気を妨げないよう隣接物から
　１０㎝以上間隔をあけて設置してください。
■ＣＲＴディスプレイからは１ｍ以上離して設置してください。
　ＣＲＴ画面が歪む等、不具合が生じることがあります。



４．接続方法

４－１　適合する電源設備の準備

電源設備条件は次の通りです。適合する設備をご用意下さい。

機種	周波数	電圧	容量	相数	ｺﾝｾﾝﾄ	分電盤MCB
ＳＣ１０Ａ	50又は60HZ (±３Ｈｚ)	85～115V	1KVA以上	単相2線+接地 (第３種接地)	平行２極 アース付	１５A以上

感電防止のため、入力プラグの接地極は必ず接続してください。

４－２　エンジン発電機での使用について

エンジン発電機を電源とする場合は、３ｋＶＡ以上の容量のエンジン発電機を用意し、マッチング試験を必ず実施してください。
小容量のポータブルエンジン発電機は、ＵＰＳが正常に動作しないだけでなく、装置が故障する恐れがありますので、本ＵＰＳの電源として使用しないでください。

４－３　負荷装置の接続

負荷装置は、装置裏面の出力コンセント（平行２極＋アース付き×４個）に接続してください。
出力の合計は、１０Ａ（７００W）以下で使用してください。

４－４　外送信号の接続（フォトカプラ出力）

停電や万一の故障などの情報を外部にお知らせする事ができます。
必要に応じご使用下さい（フォトカプラによるオープンコレクタ信号出力）。

外送信号Ｄサブ	内容
１－６	P.F.　入力異常（入力停電、入力過電圧）にてクローズ
２－６	B.L.　バッテリ電圧低下（バッテリ電圧低下による放電終止予告にてクローズ）
３－６	TRBL.トラブル（ＵＰＳトラブルにてクローズ）
４－６	INV.　インバータ給電にてクローズ
５－６	BYP.　バイパス給電にてクローズ
８－９	ＵＰＳシャットダウン　バックアップ動作時に９ピンをＳＧとしＤＣ５～１５Ｖを２秒以上入力にてＵＰＳを停止します

注：外部信号の接点容量は　ＤＣ３０Ｖ　５０ｍＡです。

ＮｅｔＷａｒｅ（ノベル社の登録商標）及びＷｉｎｄｏｗｓＮＴ（米国マイクロソフト社の商標）のＵＰＳモニタリング機能を使用する場合は、オプションの専用ケーブルを使用してください。
なお、機能設定の詳細については各OSのマニュアルをお読みください。

４－５　拡張スロット

オプションのインターフェイスボードを取り付ける拡張スロットです。

５．操作方法

５－１　初めての運転の前に

＜確認事項＞

・装置の入出力が正しく配線されていることを確認してください。

・入力プラグの接地極は必ず接地（第３種接地）接続してください。

＜本ＵＰＳの動作の特徴＞

・自動周波数選択回路により、入力周波数にあった出力周波数が出力されます。

・入力ＭＣＢ「ＯＮ」による始動時及び長期停電による放電終止後の復電時は、バイパス給電より出力開始し、自動的にインバータ給電へ切り替わります。

・インバータ給電は停止スイッチにより停止し、バイパス給電へ切り替わります。出力を停止する場合は、入力ＭＣＢを「ＯＦＦ」にします。

５－２　始動運転操作

裏面の入力ＭＣＢを「ＯＮ」	
↓	
バイパス給電にて出力	「交流入力」点灯 「出力」点滅
↓	
インバータ給電に切り替わる	「出力」点滅→点灯

注意：バイパスからインバータへの切り替えは同期制御に約３０秒かかります。

注意：「バッテリ」ランプは、ＵＰＳの動作に関係なくバッテリ電圧により点滅及び点灯します。受電中の点滅は充電中、点灯は充電完了を表します。

注意：放電終止後の復電時も同じ動作となります。

５－３　停止（バイパス）操作

インバータ給電	「交流入力」点灯 「出力」点灯
↓	
停止（バイパス）スイッチを１秒間押す	
↓	
バイパス給電に切り替わる	「交流入力」点灯 「出力」点滅
↓ ５－４へ ／ ＵＰＳを完全に停止する場合	
入力ＭＣＢを「ＯＦＦ」	
↓	
出力停止し、ＵＰＳ完全停止	全消灯

５－４　運転リセット操作

バイパス給電	「交流入力」点灯 「出力」点滅
↓	
運転リセットスイッチを１秒間押す	
↓	
インバータ給電に切り替わる	「交流入力」点灯 「出力」点滅→点灯

６．動作説明

６－１　動作説明

◎正常時

正常時は、入力電源を整流器(ＲＥＣＴ)にて直流電力に変換した後、さらにインバータ(ＩＮＶ)で入力電源と同期した交流電力に変換し、安定した電力を負荷に供給します。
バッテリは充電器にて定電圧、定電流充電します。

◎入力電源異常時　（入力停電、入力高電圧）

入力電源が停電または高電圧になると入力電源異常を検知し、無瞬断で、バッテリから電力を供給します。

◎　入力復電時

入力電源が入力定格電圧範囲に復帰すると、自動的に無瞬断で正常時の運転状態に戻ります。

◎　長時間停電

停電が長時間続くとバッテリ電圧が低下し外部信号として「バッテリ低下」を送出し、やがて、バッテリ放電終止電圧となり装置は停止します。
従って、負荷側で不具合が発生する場合は、停止するまでに終了処理等を行なってください。
入力電源が入力定格電圧範囲に復帰するとバイパスより出力を開始し、その後自動的に正常時の運転状態に戻ります。

◎　過負荷時

本装置に接続されている負荷が定格電流を超えると、バイパス給電となります。
過負荷状態が解除されれば自動的にインバータ給電に切り替わります。
（オートリターン機能）

◎　インバータ故障時

万が一、インバータ部が故障した場合、トラブルランプが点灯し自動的に無瞬断でバイパス給電に切り替え、ブザー警報と外部信号を送出し、インバータ部は停止します。
トラブル状態は運転リセットスイッチを１秒間押すリセット操作を実施するまで保持します。入力電源断（入力ＭＣＢ「ＯＦＦ」）にてもリセットできますが、出力断となります。

◎　バイパス時

停止（バイパス）スイッチによりインバータ停止しバイパス給電に切り替えます。
運転リセットスイッチによりインバータ給電に復帰、入力ＭＣＢ「ＯＦＦ」により出力停止の完全停止となります。
バイパス時に停電が発生した場合は、バッテリによるバックアップ動作は行いません。
バッテリはバイパス中も充電器にて定電圧、定電流充電します。

６－２　ランプ表示・ブザー動作説明

正面パネルの４個のランプ表示とブザー音にて、本ＵＰＳの運転状態を表します。

○＝ランプ点灯
△＝ランプ点滅
×＝ランプ消灯
＊＝その他の条件あり：充電完了＝○、充電中＝△

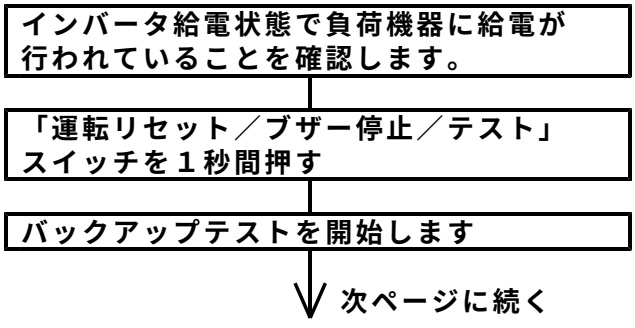
交流入力	出力	バッテリ	トラブル	ブザー	動作内容
○	○	＊	×	なし	インバータ給電による正常運転状態
×	○	○	×	断続音	停電によるバックアップ運転状態
×	○	△	×	４連音	停電によるバックアップ運転にてバッテリ電圧低下による停止予告状態
△	○	○	×	断続音	入力過電圧によるバックアップ運転状態
△	○	△	×	４連音	入力過電圧によるバックアップ運転にてバッテリ電圧低下による停止予告状態
○	△	＊	△	間欠音	過負荷によるバイパス運転状態
○	○	○	×	断続音	バックアップテストによるバックアップ運転状態
○	△	＊	×	間欠音	入力電源投入直後及び停止（バイパス）スイッチ操作によるバイパス給電状態
○	△	＊	○	連続音	インバータ故障によるバイパス給電状態
○	○	△	△	間欠音	バッテリ交換予告警告（インバータ給電）
○	○	×	○	間欠音	バッテリ交換警告（インバータ給電、充電器動作ストップ）

注意：ランプ表示は正面より確認してください。

６－３　保守機能説明

６－３－１　バックアップテスト機能

擬似的に停電状態をつくり、本装置のバッテリバックアップ機能が正常に作動するかどうかを確認する機能です。負荷機器が接続されていれば、バッテリの放電テストも同時に行い、バッテリが劣化していないかどうかを自動的にテストします。
バックアップテストは次の手順で行います。



前ページから続く

１分間のバックアップ動作によりバッテリの状態を判定します

各判定結果はランプ表示とブザーで知らせます（下表に示す）

バックアップテストエラーとなった場合はバッテリの交換が必要です
最寄りの販売店に連絡お願いします

バックアップテストによるランプ表示とブザー

交流入力	出力	バッテリ	トラブル	ブザー	動作内容
○	○	○	×	断続音	バックアップテスト中
○	○	＊	×	なし	バックアップテスト正常終了による正常運転状態
○	○	＊	×	間欠音	バックアップテストエラーによるバッテリ交換予告
○	△	＊	○	連続音	バックアップテストエラーによるバッテリ交換警告

６－３－２　バッテリ交換予告機能

本装置は内部のタイマーにより、２５℃において約５年でバッテリ交換予告、約６年でバッテリ交換警告動作となります。
本動作が働いた場合は、速やかに最寄りの販売店に連絡し、バッテリ交換を実施ください。
内部のタイマーには温度補正により加速します。使用状況によっては、５、６年り早く予告、警告動作となることがあります。
なお、バッテリ交換予告、警告動作時はインバータ給電を継続していますので、ブザー停止操作にて通常に使用できますが、６年のバッテリ交換警告動作時は、充電器を停止しますので、その後のバックアップ動作は保証できません。

交流入力	出力	バッテリ	トラブル	ブザー	動作内容
○	○	△	△	間欠音	バッテリ交換予告動作（２５℃にて約５年）
○	○	×	○	間欠音	バッテリ交換警告動作（２５℃にて約６年）

７．異常時の操作方法

本装置に異常が発生した場合には、ランプ表示とブザーの鳴動により異常内容を知らせます。
ランプ表示とブザーの鳴動状態を記録し、６－２項のランプ表示とブザーの動作説明より動作状態を調べ、下表の「こんな時は」を参照して処置してください。
該当しない場合や処置により復旧できない時は、最寄りの販売店に連絡お願いします。

こんな時は

現象	原因	対応
ランプ表示が動作説明と異なる表示をする	外からの光や観る方向により正しく見えない	外からの光をさえぎって正面より再確認ください
ランプ表示が全て消灯し出力しない	長時間停電による放電終止状態	入力電源電圧を調査ください
	入力ＭＣＢが「ＯＦＦ」している	入力ＭＣＢを「ＯＮ」してください
「交流入力」が点灯→消灯を繰り返す	入力電圧が低い	入力電源電圧を調査ください
	負荷電流が大きい	負荷を軽減してください
	同一入力系統にモーター負荷やレーザープリンタがある	別系統のコンセントから入力電源を取る
	入力系統の電線が細く長い	電線配線を短く太くしてください
「出力」「トラブル」が点滅（過負荷）が継続又は繰り返す	過負荷状態	負荷を軽減ください
	負荷にレーザープリンターがある	レーザープリンターを取り除いてください
運転し、しばらくするとトラブル動作となる	ファンが停止している	ファン交換が必要です 販売店に連絡ください
	前面の吸気口が妨害されている	吸気口の埃や障害物を取り除く
	裏面の排気スペースが妨害されている	裏面のスペースを広くする
	直射日光や熱源が近くにある 埃による目詰まり	設置場所を変えてください 内部清掃が必要です 販売店に連絡ください
バックアップテストエラー	バッテリの充電不足	１２時間以上充電してから再テストしてください
	バッテリの寿命	バッテリ交換が必要です 販売店に連絡ください
バッテリ交換予告、警告	バッテリの交換時期	バッテリ交換が必要です 販売店に連絡ください
入力ＭＣＢがトリップ（ＯＦＦ）する	過大負荷、負荷短絡	負荷を取り外して原因を切り分けてください
	ＵＰＳ内部故障	入力プラグをコンセントから取り外してください 販売店に連絡ください
ＣＲＴがちらつく	ノイズの影響	ＣＲＴを１m以上離す
		電源ケーブルと信号ケーブルを分離する
外送信号が誤動作	ノイズの影響	電源ケーブルと信号ケーブルを分離する

８．保守・点検

８－１　保守・点検

８－１－１　日常のご点検

本装置をより安定して使用して頂くために以下の日常点検をお願い致します。

① ランプ表示の確認
② 周囲温度の確認　　１０～２５℃でご使用されることをお勧めします。
③ 周囲の埃の有無の確認
　本体の汚れは、軟らかい布に中性洗剤を含ませて拭いて下さい。ベンジン、シンナー等の揮発性のものや薬品を用いて拭かないでください。
　また、盤内の電気部品に水がかからぬようにして下さい。
　外部露出部の電気部品の周囲を拭くときは運転をとめて乾いた布で拭いて下さい。
④ 周囲荷物の積み上げ等の有無の確認
⑤ 装置内部からの異常音の有無の確認
⑥ 装置内部からの異臭の有無の確認

８－１－２　定期的にバッテリ交換が必要です（有償）

バッテリは使っている内に消耗します。バッテリの寿命を超えた状態で使用された場合、停電時にバックアップできなかったり、その他思わぬ障害を発生させる原因ともなります。
また、バッテリの寿命は、使用温度条件、放電電流、放電回数まどによって大きく変化します。使用温度による期待寿命とバッテリ交換周期の目安を次の表に示します。なお、日本電機工業界からバッテリ交換周期の指針が示されてますので合わせてご参照ください（JEM-TR204)。

バッテリ交換の目安

使用環境温度	バッテリ交換周期
２５℃	３～５年

温度０～４０℃、湿度３０～９０％の範囲でご使用してください。温度はバッテリ寿命への影響を考慮すると１０～２５℃の範囲でご使用されることをお勧めします。
特に、24時間システム等、重要業務に使用する場合は、交換周期を交換予告より早めていただくようお願い致します。
また、周辺に荷物の積み上げなどで換気が妨げられた場合バッテリの温度が上昇し、バッテリの寿命をより短縮させますのでご注意下さい。
交換の際はお買いあげの販売店にご連絡下さい。

８－１－３　排気ファンの交換（有償）

より長く、安定してご使用いただくために、バッテリ交換と同時に排気ファンの交換をお勧めします。

８－１－４　長い間使わない場合

長い間ご使用にならない場合は次の事にご注意下さい。

■３ヶ月に一度は２４時間の充電運転をして下さい。
■できるだけ低温（２０℃以下）の部屋に保管して下さい。

８－１－５　絶縁試験

電源配線の絶縁試験を行なう場合は、入力プラグを入力コンセントから外して行なって下さい。
そのまま行なうと内蔵の避雷器により絶縁抵抗が低く測定されます。

９．要項表

型式				ＹＵＭＩＣ－ＳＣ１０Ａ	
項目			単位	規格	備考
使用環境	温度		℃	０～４０	
	相対湿度		%	３０～９０	ただし無結露のこと
交流入力	相数		φ	１	
	定格電圧		V	１００	
	電圧変動範囲		V	８５～１１５	
	定格周波数		Hz	５０／６０	±３Hz
	入力容量		kVA	１以下	定格入出力時
ＵＰＳ本体	方式	定格		連続	
		冷却方式		強制風冷	
		運転方式		商用同期常時インバータ	
	交流出力	出力容量		１ｋＶＡ／７００Ｗ	
		相数	φ	１	
		定格電圧	V	１００	
		定電圧精度	%	±２以内	
		定格周波数	Hz	５０または６０	自動選択
		周波数精度	Hz	±０．１以内	インバータ自走時
		過渡電圧変動	%	±８以内	整定時間100msec
		波形歪率	%	３以下／５以下	線形負荷／整流負荷
バッテリ	停電保持時間		分	約１０(６００Ｗ)	２５℃　初期値
	機種			小形制御弁式鉛蓄電池	
	形式			ＲＥ７－１２	７Ａｈ 20時間率
	個数		個	４	直列接続
	充電時間		時間	１２以下	
騒音			ｄＢ	４０以下	
外形寸法			mm	１３８×４５０×３５０	幅×奥行×高さ
重量			ｋｇ	約２２	バッテリ含む
塗装色				Ｎ－７．５	マンセル近似値

１０．保証について

保証期間中、万一故障した場合は、保証書記載事項に基づき無償修理致しますので、お買い求めの販売店に保証書をご提示下さい。
なお、保証期間中でも修理が有償となることがありますので、保証書をよくお読み下さい。

１１．問い合わせ先

本装置に対するお問い合わせ、疑問点がございましたら、下記の
株式会社　ジーエス･ユアサ パワーエレクトロニクス　「ミニＵＰＳサービス相談室」
または、お買いあげの販売店までお問い合わせください。

株式会社　ジーエス･ユアサ　パワーエレクトロニクス
「ミニＵＰＳサービス相談室」
０１２０－４５６－６５２（フリーダイヤル）
携帯電話･ＰＨＳご使用の場合は　０７５－３１２－０６８０
（9：００～１２：００･１３：００～１７：３０、土日祝日･弊社休業日を除く）

株式会社 ジーエス･ユアサ パワーエレクトロニクス
http://www.gs-yuasa.com/gype/jp

＊仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
F改訂:2008.3.3